

| 開講学科 | 基礎教育センター | 前橋工科大学 シラバス | | | |
|----------------|---|-------------|-------|-------------------|-----|
| 科目名 | 国際関係論 | 標準対象年次 | 選択/必修 | 科目コード | |
| | | 2・3年次 | 選択 | 11001501/11001502 | |
| 担当教員 | 大沼久夫 | 単位数 | 学期 | 曜日 | 時限 |
| | | 2単位 | 前期・後期 | 木曜日 | 2時限 |
| 授業の教育目的・目標 | 広範な知識体系への関心を喚起し、幅広い教養と豊かな人間性の滋養を図るとともに、工学の専門教育に必要な基礎的学力、思考力ならびに表現力などを修得させる。 | | | | |
| 学科の学習・教育目標との関係 | 国際社会の現状を歴史的に理解し、国際的な視野から日本の立場、役割を考え、行動するための知識と指針を持てるようにする。大学生としての必要な教養と倫理観を身に付ける。 | | | | |
| キーワード | 国際的な思考力、日本の立場と役割、アジア・世界との共生。 | | | | |
| 授業の概要 | 現在の複雑で多様な国際関係を理解するための基礎的な理解、近代国際社会の成立、20世紀の国際社会の歴史、特に戦後の冷戦時代の出来事等について具体的に理解し、国際社会の現状と課題、日本の役割、国際社会の今後についても考える | | | | |
| 授業の計画 | 第1回： 近代国際社会 主権国家 第2回： 国力とは 国益とは TPP を例に考える 第3回： 戦争と平和 平和とは？ 第4回： 戦後の世界 冷戦時代 第5回： 戦後の世界 核兵器 核戦争 第6回： 戦後の世界 アジア 朝鮮戦争 ベトナム戦争 第7回： 民族とは？ 民族紛争 第8回： 国際テロについて考える 第9回： 戦後の日本 日米関係 沖縄の米軍基地問題 第10回： 戦後の日本 日本と中国 第11回： 戦後の日本 日本と朝鮮半島 第12回： 戦後の日本 日本と東南アジア 第13回： これからの日本とアジア 第14回： これからの日本と世界 第15回： 国際社会が直面する諸問題 | | | | |
| 受講条件・関連科目 | 歴史関連科目、政治経済関連科目の受講、新聞の国際面、政治経済面を読むこと | | | | |
| 授業方法 | テキストを中心にすすめ、新聞報道やビデオ、インターネットなども活用、双方向の授業を目指す。 | | | | |
| テキスト・参考書 | テキスト 田中明彦他編『新・国際政治経済の基礎知識[新版]』有斐閣 2010年 2400円＋税 | | | | |
| 成績評価 | ・試験（80％） ・小テスト（20％） | | | | |

| | |
|--------|------------------------------------|
| 履修上の注意 | 新聞を読んで国際社会での出来事や日本の出来事について関心をもつこと。 |
|--------|------------------------------------|